

2014年9月1日

報道関係各位

三菱地所株式会社

**就業者数約23万人・日本を代表するオフィス街・丸の内で
三菱地所総合防災訓練を実施
地域の医療機関ほかと連携した実践的な災害時医療連携訓練を実施**

三菱地所株式会社は、本日早朝より、東京・丸の内地区を中心に、全社員並びにグループ会社社員が参加する総合防災訓練を実施しました。本訓練は、当社の前身である三菱合資会社地所部が1923年（大正12年）の関東大震災時に同年に竣工した旧丸ビルを中心に救護活動を行ったことを契機としており、今年で88回目（1926年（大正15年）より実施）を迎えます。

丸の内地区では、保有する約30棟のビルで東日本大震災クラスの地震発生（平日午後5時に東京湾北部地震発生・東京中心部は震度7）を想定し、非常災害体制の発令により、全社員が災害対策要員として初動対応や安否確認、建物安全確認、負傷者・帰宅困難者対応訓練等を実施。三菱地所グループ社員約1,250名が訓練に参加しました。

本年度は、民間のオフィスビルとして日本で初めて医療備蓄・災害時医療体制を整えた大手町フィナンシャルシティにおける聖路加国際病院附属クリニック聖路加メディローカス（診療所）、アイン薬局大手町店（調剤薬局・ドラッグストア）との災害時医療連携訓練や、昨年9月に三者協定を締結し、連携体制を構築した千代田区医師会・東京駅周辺防災隣組との災害時連携訓練を実施。医療関係者である医師・看護師・薬剤師等に参加いただく実践的な訓練を行いました。



千代田区医師会の医師・看護師等によるトリアージ訓練



聖路加メディローカスにおける医療活動訓練

当社では、平素より独自の災害対策要綱を策定し、建物等の耐震化等の各種災害予防策のほか、非常用資機材の配備、食糧備蓄及び災害発生時の非常災害体制の編成等、ハード・ソフトの両面にわたって、大地震等の災害への対策を講じています。当社がエリアマネジメントをリードする丸の内地区では、今後とも、地元消防署や各ビルのテナント企業の皆様の協力のもと、非常時にも十分な体制が構築できる安全・安心な街づくりを目指します。

以上

<本件に関する報道関係の問い合わせ先>

三菱地所(株) 広報部

03-3287-5200

< 2014年度の主な総合防災訓練内容 >

①非常組織編成訓練 (7:17~)

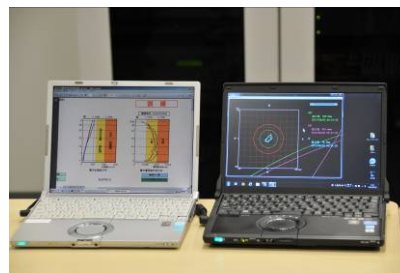
- ・東京湾北部を震源とする、東京中心部震度7の大地震を想定し、初動対応及び非常災害体制の編成訓練を実施。
- ・災害対策総本部を立ち上げ、各部署・各関係会社社員の安否や所管物件の被害状況を確認し、災害対策総本部へ情報を一元化する体制を構築。

②建物の安全確認訓練 (7:21~)

- ・建物の安全性を確認する建物応急危険度判定を実施。
- ・2012年度より導入した被災度判定システムにより、地震による建物の揺れ方を確認し、被害の想定される階より防災センター警備員が目視による1次診断を実施。その後、駆けつけた三菱地所グループの技術者並びに昨年より協力体制を構築したゼネコン・設備会社の技術者が、2次診断・3次診断を実施。



建物応急危険度判定訓練



被災度判定システム

③医療連携体制をもとにした仮救護所設営・負傷者搬送訓練 (7:45~)

- ・応急危険度判定を基に安全と判断した建物で、仮救護所を設営し、負傷者対応を実施。
- ・昨年9月に当社・東京駅周辺防災隣組と医療連携に係る三者協定を結んだ千代田区医師会の医師・看護師が丸の内に駆けつけ、発生した負傷者等への初期対応として、怪我の処置の優先度を定める「トリアージ」を行いました。
- ・東京駅周辺防災隣組は、行幸通りに「災害情報ステーション」を設営。行幸通りをはじめとした地区内各所で仮救護所の設営についての案内を実施しました。
- ・大手町フィナンシャルシティにおいては、昨年11月に同じく医療連携協定を結んだ聖路加メディローカス、アイン薬局と連携し、大手町フィナンシャルシティ1階アトリウムでのトリアージを行い、その後要救護者は大手町フィナンシャルシティ2階の聖路加メディローカスに搬送し、災害時医療活動訓練を行いました。この際、民間ビルで日本初となる医療備蓄体制に基づき、アイン薬局大手町店が備蓄している医療用医薬品（医療器具・薬品・調剤薬）を使用しました。



大手町フィナンシャルシティのトリアージカウンター



備蓄している医療用医薬品等の手配確認

④ビル総合防災訓練（新丸の内ビルディング消防演習）（10：00～）

- ・東京消防庁丸の内消防署等との共同訓練。
- ・地震発生後に、飲食ゾーンで火災が発生したことを想定し、初期消火訓練、避難訓練、負傷者搬送訓練、救急処置訓練等を実施。
- ・はしご車による逃げ遅れ者救出訓練、消防車による消火訓練等を実施。
- ・救急処置訓練には、東京消防庁「ハイパーレスキュー」に配置されている特殊救急車「スーパーアンビュランス」*が参加し、負傷者応急救護訓練を実施。
- ・一般の方にもご参加頂き、濃煙の中での避難を目的とした煙ハウスや震度7の揺れを体験する起震車体験訓練等も実施。
- ・膨張テント（6M×6M）を設営し、避難者の容体を確認。

※スーパーアンビュランス・・・東京消防庁等に配備されている特殊救急車。患者搬送を行えるほか、大規模災害及び多数傷病者発生時等の災害現場でボディを左右に拡張することにより、フラットな床面が最大約40㎡に広がり、最大ベッド数8床の救護所としての機能を有している。



はしご車による救出訓練



消火訓練（一斉放水）

以上

参考：丸の内における外国人就業者・来街者への防災対応

- ・負傷者への英語医療対応

大手町フィナンシャルシティに英語対応可能な「聖路加メディローカス」を誘致。海外からの赴任者・来街者が言葉の通じにくい日本で体調を崩した際の安心を平時より提供し、災害時にも英語でケアにあたります。

- ・防災取り組みの英語動画制作

地震災害に不安を感じる外国人の方々へ、丸の内が提供する街全体での安全・安心について、防災訓練の様子も交えて紹介する動画を制作し、YouTube 丸の内チャンネルにて公開中。

<URL>

http://youtu.be/NM_oMPf1kHg

（日本語版はこちら）

<http://youtu.be/khNC9IZ1kug>

